

力強く、前へ…

令和8年2月7日

堀工町どんど焼き 2年生の事前学習

1月18日(日)「第41回堀工町どんど焼き」が、堀工町ふれあい運動広場で開催されました。当日は、近隣の方々はもちろん、関東近郊からも訪れていた方もいたようです。美園小の子どもたちもたくさん訪れており、伝統行事に触れながら楽しむ子どもたちの様子を見ることができて、校長としてもとても嬉しくなりました。

2年生は、地域の伝統行事である「どんど焼き」を題材に学習しています。今年度も、堀工の野村区長様にお世話になり、1月15日(木)に熊野神社や櫓（やぐら）の見学を通して「どんど焼き」について学習しました。

「百聞は一見にしかず」と言いますが、実際に「どんど焼き」でのお焚き上げを見ると、一気に燃え上がるその炎の迫力に驚かされます。櫓を支える竹が大きな音を立てて破裂し、その音が「邪気を払う」ということも実感できます。こうした伝統行事が、これまでの多くの人の支えで継承され、今後は今の子どもたちが引き継いで行くことができるようになってほしいと思います。



令和8年の書き初め

例年行っていますが、今年もそれぞれの学年で書き初めが行われました。いつもの書写の授業では自分の机で書いていますが、書き初めはふれあいルームや体育館を使って行っています。子どもたちは緊張感を高め、一筆ごとに慎重に書いていました。

この「書き初め」というのも、日本の大切な伝統文化です。新年の始めに、真剣に取り組む子どもたちの姿はとても立派でした。

現在、書き初めの作品は各学年の廊下に掲示されています。2月9日(月)の授業参観時にぜひご覧いただき、お子さんの努力を大いに称賛していただきたいと思います。



4年 里沼(茂林寺沼)学習

2学期の美園小だよりでもお伝えしましたが、4年生が茂林寺沼を題材に、里沼学習を進めています。1月21日(水)6校時には、これまで子どもたちが探究してきた中で、「疑問に思ったことや不思議に思ったこと、自分で調べたもののよく分からなかったこと」などについて、6名の地域の方や専門家の方に尋ねました。

「どんど焼きを行うには、どのくらいの費用がかかるのですか？」

「茂林寺布湿原には、どうして貴重な植物が多いのですか？」

こうした子どもたちのたくさんの疑問や問いに、専門家の方々はとても丁寧に答えてくださいました。貴重なお話を聞くことで、疑問が解決され、子どもたちはとても勉強になったことと思います。

子どもの学びは、教室での学びだけではありません。私たち教師だけでは、この4年生の疑問や問いには答えきれなかったはずですが、地域の方々にご協力いただくことで実現した今回の学び。こうしたたくさんの人とふれあい、話すことで実現できた学びは、今後も子どもたちに記憶に残ることとなる貴重な学びになったことと思います。



なお、2月10日(火)には、同じように里沼について探究している第八小学校、第三中学校の皆さんとで、互いに探究した内容についてオンラインで発表し合う「里沼サミット」を予定しています。美園小の4年生が、堂々とした姿で発表してくれることを期待しています。



2月9日(月)授業参観・懇談会



2月9日(月)、3学期の授業参観・懇談会を実施します。5時間目が授業参観で、その後懇談会となります。授業参観では、保護者の皆様に子どもたちの学ぶ様子を参観いただくことはもちろんですが、保護者の皆様が授業に同席する貴重な機会と捉え、親子で共に学ぶことができる時間とも捉えています。そうしたことから、学年により、授業、懇談会を学年で行うこともありますので、予めご理解・ご協力をお願いします。

多くの皆様の参観を、お待ちしております。

美園小HPもぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/school/sho.misono/>